

Official publication of SHUKO-GAKUEN

# Heart & Hand



2019

Vol.20

 社会福祉法人 修光学園<sup>®</sup>  
Social Welfare Organization SHUKO-GAKUEN

生活介護・就労継続支援 B 型事業  
**修光学園**

就労継続支援 B 型事業  
**HOLY LAND**

就労移行支援・就労継続支援 B 型事業  
**飛鳥井ワークセンター**

就労継続支援 B 型事業  
**ワークセンター Halle!**

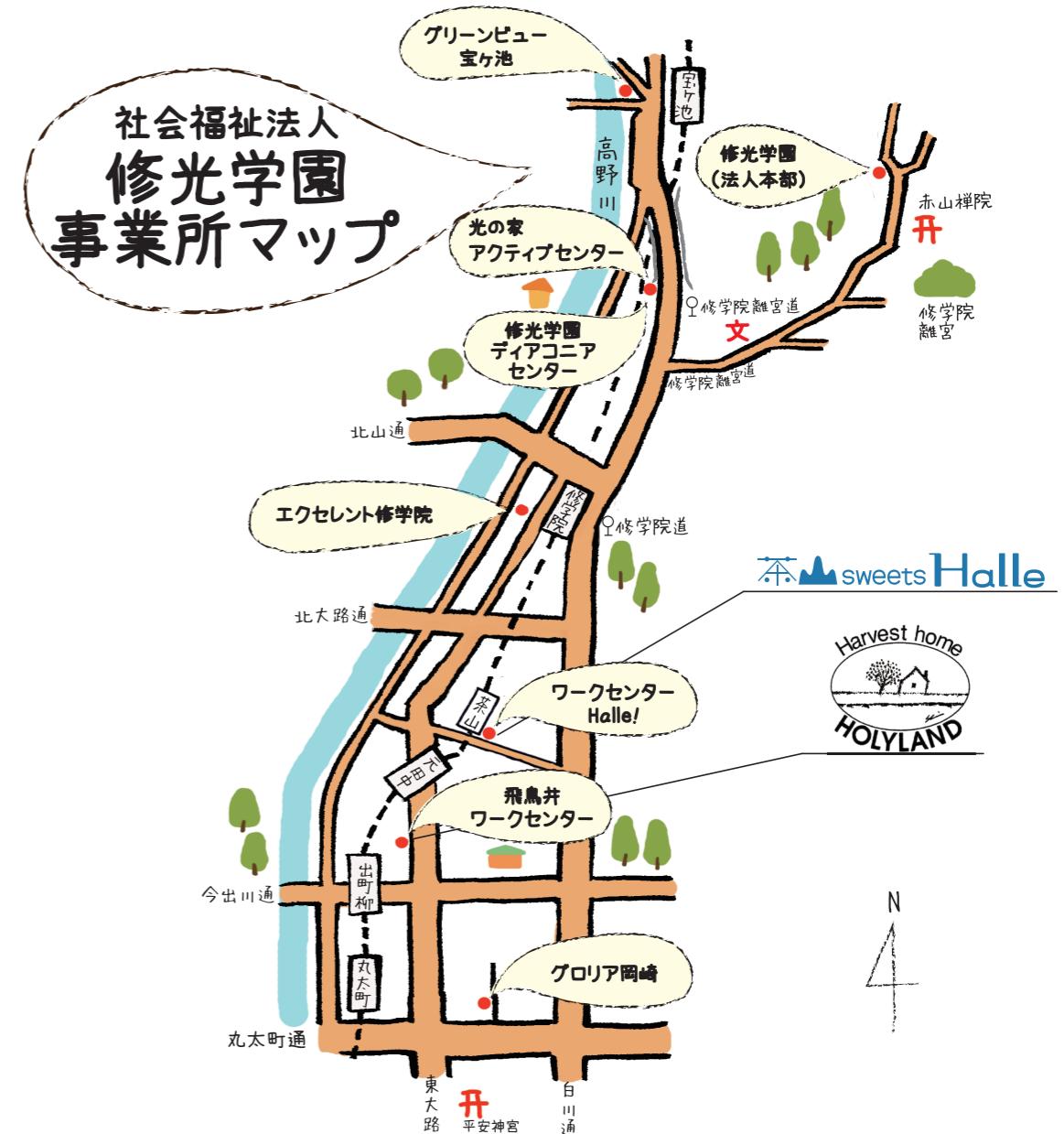
地域生活支援事業・居宅介護等事業・特定相談支援事業  
**修光学園ディアコニアセンター**

共同生活援助事業  
**修光学園グループホーム**

短期入所事業  
**修光学園ショートステイ「ikoi」**

Heart & Hand 2019

発行者:社会福祉法人修光学園広報委員会 発行日:2019年12月1日 第20号(通算35号) <http://shuko-gakuen.jp> [info@shuko-gakuen.jp](mailto:info@shuko-gakuen.jp) TEL 075-702-1700 / FAX 075-702-2700



修光学園(法人本部)

〒606-8033  
京都市左京区修学院山添町 8-2  
TEL 075-702-1700  
FAX 075-702-2700  
[shuko@shuko-gakuen.jp](mailto:shuko@shuko-gakuen.jp)



飛鳥井ワークセンター

〒606-8226  
京都市左京区田中飛鳥井町 40  
TEL 075-722-5991  
FAX 075-722-5951  
[asukai@shuko-gakuen.jp](mailto:asukai@shuko-gakuen.jp)



ワークセンター Halle!

〒606-8233  
京都市左京区田中北春菜町 14-1  
TEL 075-706-2400  
FAX 075-706-2401  
[halle@shuko-gakuen.jp](mailto:halle@shuko-gakuen.jp)



修光学園グループホーム  
エクセレント修学院

〒606-8003  
京都市左京区山端川原町 9-1  
エクセレント修学院



光の家アクティブセンター

〒606-8012  
京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3  
TEL 075-711-7360  
FAX 075-711-7370  
[hikari@shuko-gakuen.jp](mailto:hikari@shuko-gakuen.jp)



修光学園ディアコニアセンター

〒606-8012  
京都市左京区山端滝ヶ鼻町 3  
TEL 075-702-7991  
FAX 075-702-7992  
[diakonia@shuko-gakuen.jp](mailto:diakonia@shuko-gakuen.jp)



修光学園グループホーム  
グロリア岡崎

〒606-0939  
京都市左京区上高野上荒蒔町 10-2  
SAM SQUARE 宝ヶ池



# 飛鳥井

## 西川功晃シェフ

飛鳥井ワークセンターの  
製パン事業に携わる  
カリスマ・ブーランジェリー

西川功晃シェフの想い

飛鳥井ワークセンターの製パン事業は、神戸で大人気のブーランジェリー「サ・マーシュ」の西川功晃シェフが、技術指導の他、数々のヒット商品のプロデュースに携わり、活気を見せてています。西川シェフにとって、障害のある方がパン作りをしている現場に入るのは飛鳥井ワークセンターが初めてのこと。どんな思いがあったのかHeart & Hand編集部が西川シェフに今感じていることを聞きました。



Q シェフがパン作りに目覚めたのは?  
最初はたまたまだったと思います。働きたいとお願いをしたところが、パンをメインに製造しているタカキベーカリーさんでした。もとは洋菓子希望だったのもあって、その後は都内の多くの有名菓子店に入社して経験を積みました。そこから自分の人脈もしてきた頃、次第に自分は洋菓子じゃなく、パンを求めているように感じましたね。パンに戻って、神戸のコムシノワの莊司オーナー・シェフに出会ったのは大きな転機でした。莊司シェフと色々な仕事をしているうちに、パン屋のすごさを実感しました。単に技術ではなく、朝早くから汗水たらして必死にパンを作つても利益はわずか。たつこれだけの利益なのに、大勢の人が必死でパンを作るんです。一瞬にして数万円の売上がある料理屋とは違う。パン屋は4～5時間必死でやつてやつと数千円の利益。でも大変でバカみたい、ではなく、それってすごいことだと思つたんです。それを料理人も気づいて感動してくれた。その時に、こういう仕事を大切にしていきたいって思いました。俺はパン屋さんでいこうと決めたんです。

Q 飛鳥井ワークセンターに初めて入った時の感想を教えてください。  
最初は「こんなにたくさんの障害のある方々

Q 飛鳥井ワークセンターの製パンチームの魅力  
はどのようなものでしたか。  
チームとしてまとまっているなど感じます。そして、みなさんイキイキとしていて雰囲気が良いですね。淡々と作業をしているパン屋さんと違って、「生きてる!」っていうエネルギーを感じます。それは、パン作りにおいてとても大事なことです。パンは、計算された部分、決められた部分よりも、人の本能の力が大きな差を生みます。私もそれを大事にパンを作っています。



# Heart & Hand CONTENTS

- 02 インタビュー 西川功晃シェフ
- 03 カタログ
- 05 社会福祉法人修光学園グループの活動
- 07 修光学園
- 09 HOLY LAND
- 11 飛鳥井ワークセンター
- 13 ワークセンター Halle!
- 15 修光学園ディアコニアセンター  
修光学園グループホーム
- 17 メディア 2018
- 19 2018 委員会活動
- 20 会計報告（貸借対照表・計算書）
- 21 ご支援くださいました方々

# SHUKO GAKUEN

# CATALOG



花器  
¥4,000



ピアカップ  
¥1,800



マグカップ ¥1,800

練りこみの手法を用いた陶器シリーズ。手間のかかる作業を丁寧に心を込めて作りました。ゆっくりコーヒーを味わいたい時に使って欲しい、少し大きめのカップです。一つとして同じものはない模様や、陶土の持つ独特の風合いが楽しめます。



箸置き  
(5個セット)  
¥2,750



スープカップ  
¥2,000



湯呑み(高台)  
¥1,400



小皿  
¥600~



ちぎり絵ハガキ・ポチ袋  
(ちぎり絵ハガキ)¥110 (ポチ袋)¥200

牛乳パックを再利用した手すきハガキ・ポチ袋。お正月の富士山・かき氷等々、四季折々の柄を取り揃えています。ちょっとした気持ちを伝える時に、そっと寄り添ってくれる商品です。



さしこふきん  
¥400



フェルト雑貨  
¥500~



ハード食パン  
¥360



ネギもちーず  
¥180



クロワッサン  
¥140



ショコラフランス  
¥160



クランベリー  
¥150



バウムブリュレ  
¥380



焼き菓子各種  
¥140~180



茶山ロール  
¥250(カット) ¥1,100(1本)

シュトレン  
¥1,800(クリスマス)  
¥1,200(バレンタイン、ホワイトデー)

神戸の有名パティスリー、サ・マーシュのオーナーシェフ西川功晃氏の手ほどきをうけた3種のシュトレンをそれぞれ期間限定で販売します。ミックスフルーツをふんだんに練り込んだクリスマス定番の「シュトレン」(販売期間:11月下旬~12/25)、チョコレートとコーヒー、ラムレーズンを練り込んだ「チョコレートのシュトレン」(販売期間:1月下旬~2/14)、ホワイトチョコとドライクランベリーを練り込んだ「ホワイトチョコのシュトレン」(販売期間:2月下旬~3/14)。



京 SWEETS  
¥200~220

京都で採れる貴重な素材の風味を大切にしたスイーツシリーズです。『蜜玉まどれーぬ』(左)は美山の「とちはちみつ」と丹波の「赤たまご」、京丹後の「翁乃塙」を使用。余計な素材を加えず作り上げました。『抹茶ふいなんしえ』(中)は宇治田原町で550年も土地を守り続けてきた、香り高い「小山園製茶場」の抹茶を使用。『城州白けーき』(右)は城陽青谷梅林で取れる固有品種「城州白」梅を使用しています。



晴れ ¥1,500

しっとり柔らかい「お月さん」とザクッとしっかり焼き上げた「お陽さん」を合わせた特別なバウムクーヘンです。



全粒粉クッキー各種、  
バタークッキー、  
ネージュ  
¥200~360



# 【Ⅲ 2018年度 マスタープランの推進状況】

## 01. 法律・制度等への対応

### (1)障害者総合支援法、社会福祉法改正への対応

2017年4月施行「改正社会福祉法」に定められた適切な法人運営に心がけ、行政や事業者団体からの情報を頼りにしながら、不備の無いように進めました。また、今回の改正で強く求められるようになった運営の透明性の確保や組織経営のガバナンス強化についても、從来よりも一層意識的に日々の業務へ落とし込む作業を行いました。社会福祉法人ならではの、柔軟且つ先駆的な独自の取り組みについては、京都市北部障害者地域自立支援協議会の仕組みを活用し「地域福祉ネットワーク推進部会」の設置を2018年度内に実現することが出来ました。

また、2018年4月からスタートした改正障害者総合支援法と報酬改定については、国や地方自治体、事業者団体を通じた情報収集に努め、法人事業所に有利となる算定の取得を行いました。新規事業への取り組みに対する検討も行い、新メニューである就労定着支援事業の指定を受け、飛鳥井ワーカセンターにて実施しています。

### (2)障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等への対応

障害者虐待防止法、障害者差別解消法(禁止条例)、成年後見制度などの障害のある方の人権擁護、人権の回復に資する法律・制度等の適切な理解と、制度の活用を進めました。虐待が発生するメカニズムについて全職員の適切な理解を深め、「より良い支援」を提供していく取り組みを積極的に進めました。また、法人の実施する全てのアクションにおいては、国連の障害者権利条約の内容をその指標として常に持ちあわせることを目指し、真の共生社会の実現に向けて取り組みを進めました。

## 03. 福祉サービスの提供

### (1)サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資する取り組み

運営理念や基本方針等に基づき、福祉サービスの質の向上と人材の確保・育成・定着に資するため、以下の取り組みを継続して行いました。

#### 一、運営理念及び基本方針等の徹底

法人の運営理念や事業所の基本方針、倫理綱領等を役職員に周知し、法人として進むべきビジョンを明確にするために、役員会や職員会議の場において理事会長、施設長等から表明する機会を複数回に渡って設けました。また、新規採用職員研修会、全体職員研修会の場においても、法人の成り立ちや与えられた使命、法人理念や基本方針に基づいて事業所職員がそれぞれの役割を担うことの重要性について周知徹底する機会を設けました。さらに、法人の設立日を記念して、10月1日には、修光学園開設祝典の前にご利用者、ご家族、役職員が集い、法人設立に関わった諸氏の思いと功績に触れ、当時から変わらない福祉にかける熱意と、利用される方への献身的な姿勢を共有し、感謝する場としました。

#### 二、サービスの質の向上

サービスの質の向上を図るために次のことを継続して行いました。  
●法人組織に設置したサービス向上委員会の活動を充実させ、職員等による「不適切な支援(=虐待)ゼロ」をスローガンとして多角的にサービスの質の向上を図りました。具体的には、ご利用者満足度アンケートの結果を踏まえた改善策の検討、職員個人の日々の業務を振り返る「サービス向上セルフチェックシート」の実施、虐待を防止し、サービスの質を向上するための全体研修会の企画開催などを行いました。

●2013年度に制定した倫理綱領が職員全員に浸透するように、会議資料や規程集への掲載、事業所内への掲示などの取り組みを進めました。

●2015年度～2016年度にかけて順次受診した福祉サービス第三者評価の結果をふまえ、マニュアル等の整備やサービス内容の改善を進めました。また、未受診であるワーカセンターHalle!の評価受診については、京都市府の評価基準改定時期と重なることを受け、次年度へ持ち越しとしました。

#### 三、人材の確保・育成・定着に資する取り組み

質の高いサービスを永続的に提供するため、次のことを継続して行いました。  
●より良い人材を確保できるように、職員募集時期の見直しや、大学・専門学校等に対する採用活動を行いました。また、「きょうと介護・福祉ジョブネット」事業への参画により行政、事業者、大学等との情報交換や連携強化を実現することが出来ました。

●2018年度新たに、福祉専門職の確保と育成、入職後の定着に特化した取り組みを中心となって推進する「人材採用・育成特命チーム」を法人内に設置しました。求人パンフレットの作成、就職フェアへの出展、大学等の事業への参画等の実績がありました。

●法人組織に設置した研修委員会の活動を充実させ、個別・計画的な研修の受講、キャリアの形成に導くシステム作り等を進めました。具体的には、職員研修年間計画・研修受講・資格取得履歴、キャリアアップレベル指標等の取り組みを継続しました。

## 02. 財政・経営の改善

### (1)事業と財政の健全化

施設利用率の向上、新規利用者の積極的な受け入れ、各種加算が算定できる体制づくりなどの取り組みにより、収支バランスの健全化を図りました。2017年度比では改善が見られたものの、引き続き、地道な努力の継続と抜本的な事業の見直しの必要性が高まっていることを認識し、協議を重ねました。

具体的には、2017年度から着手した給与システムの抜本的な見直しに向けて、外部の専門機関との連携を継続して行いました。また、職員諸手当の支給方法の見直しも年内に実行しました。

### (2)経営改善に向けた中長期計画の確立

2015年度を開始期とする5ヵ年計画「社会福祉法人修光学園アクションプラン2015」により、「法人経営の基本方針」と「法人の行動基準」の一層の具体化を進めました。具體化にあたっては、委員会等の活動を通じて計画実現に向けて法人が一体となって取り組みを進めました。

## 04. 社会福祉法人の使命

### (1)事業所並びに法人職員の社会資源化の促進

地域の一般市民の皆様に、「社会福祉法人や福祉施設は社会資源の一つである」という認識を抱いて頂けるように、また、全国社会福祉施設経営者協議会が経営モデルを掲げる非営利性・先駆性・開拓性・主体性などの実現化のために、広く市民に対して、事業所や職員が持つ専門性、施設機能を資源として還元していく取り組みを事業計画に位置付け、実施しました。具体的には、各事業所の所在する地域への物品や場所の提供、夏祭り等への協力、学校と連携した障害理解促進(人権学習)の取り組みなどを実行しました。

●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

### (2)各事業所の機能強化と個別支援の充実

複数の事業形態で事業所運営を行っている法人全体のステルスマーチュを活かし、各事業所の機能を強化し、雇用就労の促進、工賃(利用者賃金)の増額、日中活動支援の充実、生活支援の充実等に取り組みました。就労継続支援事業では、製品レベルの向上や販路拡大をさらに助長させ、製パン部門や製菓部門では大きな成果でもたらしました。また、生活介護事業やグループホームにおいては、医療機関やリハビリテーションの専門機関等との連携を強化し、ご利用者の健康増進・日常生活能力の維持向上に力を注ぎました。さらに、相談支援事業でも、相談スキルの向上や法人事業所とのネットワーク構築に向けて研修受講や会議参加を積極的に行いました。

●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

### (3)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

### ●全職員の有資格化を目指して、職員の福祉系資格の取得を奨励し、またスキルアップを支援するため、「在職者資格取得・スキルアップ支援事業」を継続運用しました(2018年度中の申請・選用はありませんでした)。

●全ての職員が充実して職務に勤しみ、ライフワークとして職場に定着出来るために実施しているメンタルケア・ヘルスケアのシステム、職員のキャリアアップに対する希望等を把握するためのヒヤリング実施などの取り組みを体系化した「社会福祉法人修光学園ヘルスケア・トータルサポートシステム」を継続運用しました。また、福利厚生サービスとして、保険会社との提携による健康相談サービス、メンタルケアカウンセリングサービスを継続導入し、職員への周知を行いました。

●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

### (4)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

複数の事業形態で事業所運営を行っている法人全体のステルスマーチュを活かし、各事業所の機能を強化し、雇用就労の促進、工賃(利用者賃金)の増額、日中活動支援の充実、生活支援の充実等に取り組みました。就労継続支援事業では、製品レベルの向上や販路拡大をさらに助長させ、製パン部門や製菓部門では大きな成果でもたらしました。また、生活介護事業やグループホームにおいては、医療機関やリハビリテーションの専門機関等との連携を強化し、ご利用者の健康増進・日常生活能力の維持向上に力を注ぎました。さらに、相談支援事業でも、相談スキルの向上や法人事業所とのネットワーク構築に向けて研修受講や会議参加を積極的に行いました。

●2017年度に設置した「働きやすい職場づくり検討会議」を継続設置し、労働環境の改善提案等の活動を行いました。

### (5)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

### (6)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

### (7)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

### (8)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

### (9)新たな福祉サービスの提供に向けての検討

現在の事業の見直しと今後の事業展開を模索する中で新規事業の開拓や新規事業所の開設も検討し、利用希望者の受け入れの促進と、法人事業の一層の充実を図りました。今年度は主に、グループホームの体験入居の実施、短期入所事業の受け入れ、就労定着支援事業の開始等の実績がありました。

また、HOLYLANDの建替え計画に関しては、現在法人内及び近隣エリア特に不足している重度の障害のある方が利用できる生活介護事業所の開設、ショートステイの拡充を中心に据えて大きく動くこととなりました。折しも、2015年～2019年5ヵ年計画で立案した法人アクション

## 2018年度

# 社会福祉法人 修光学園の歩み

## 【I 概説】



社会福祉法人 修光学園  
理事長 森 のり子



«2019年度職員の顔ぶれ»

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等、特定処遇改善加算を実施するとともに、早くも次期報酬改定(2021年度)に向けて障害福祉サービス等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては、2018年度に実施された障害者総合支援法一部改正・報酬改定等報酬改定検討チームを稼動させています。2019年10月の消費税増税に際しては、障害福祉サービスの内容改定(障害定着支援など)を実施するとともに、新たな算定の取得や、工賃等の見直しもされました。国は時間を置くことなく、2021年もまた同じことが予想されています。

一方、社会福祉法制度の度重なる改正の流れにおいては

## 陶芸作業

練り込み技法を中心とした  
陶芸製品の製作



前年の製品の売上動向をチェックし、陶器祭りやアートフリーマーケット等への製品を計画的に製作することにより、在庫量の安定化を図りました。また作業以外に買い物等の外出の設定を計画的に行いました。修学院小学校「遊びの学校」で陶芸教室を開催、はあとフレンズストアの企画展に出展しました。上がる下がる陶器市、京都アートフリーマーケット、猫猫市に出店しました。



### 【販売先】

委託販売: 京都ほっとはあとセンター、はあとフレンズストア、アノニム・ギャラリー(長野県)、ドツテ  
出店販売: 恒例の五条坂陶器まつり、清水焼の郷まつり、京都アートフリーマーケット、上がる下がる陶器市

## クラフト作業

紙製品、フェルトや刺し子製品の製作及び企業提携作業など



ご利用者が興味を持って取り組むことのできる創作活動として、ご利用者が描かれた絵を刺し子の柄の下絵にするなど、創作活動を生かした取り組みを行うほか、ふきんの新しい柄を作成。またフェルトを使った新商品の開発を行い、刺し子ふきんとともに販売へと繋げました。リハビリが必要な方に外部の理学療法士から必要に応じ助言を得て、ご利用者ごとに応じた身体的リハビリケアの内容の見直しを行いました。また外部講師に協力を得て、ストレッチを定期的に行いました。



### 【販売先】

京都ほっとはあとセンター、ぶらり嵐山、はあとフレンズストア、ほか注文販売など  
出店販売: 五条坂陶器まつり、猫猫市

## 社会参加支援事業

### 【行事】

5/13(日)…京都グローバルワיזメンズクラブ  
ふれあい例会バーベキュー大会  
5/23(水)…クラシックコンサートの集い  
6/4(日)…ナイスハートふれあいのスポーツ広場

6/22(金)~23(土)、  
7/13(金)~14(土)、  
9/28(金)~29(土)、  
…一泊旅行 琵琶湖グランドホテル

10/1(月)…社会福祉法人修光学園設立記念式

11/18(日)…第31回修光まつり

12/15(土)…クリスマス会

1/5(土)…餅つき大会

5/11(金)、6/8(金)、7/30(月)、  
10/26(金)、12/25(火)、2/8(金)

…レクリエーション(プール、外食(レストラン)、  
エステ(女子会)、ボウリング、鉄道博物館、動物園)

3/23(土)…新春交流お疲れ様会

## 利用者主体の活動

ご利用者が修光学園自治会の会員となり、ご利用者が主体の活動を行いました。

■毎月、月終わりに、次月の予定を掲示しました。

■事業報告・事業計画説明会を9月1日に実施しました。

■防災学習を2月16日に行いました。

■園内清掃を3月2日に実施しました。

■レクリエーションの内容を総会の場で検討し、年間を通じて、7班に分かれて実施しました。

■自治会活動を以下のとおり行いました。

○4月7日:自治会長立候補受付

○4月28日:自治会長選挙開票

○8月18日:カキ氷大会

○9月1日:2017年度事業報告会

○10月13日:日帰り旅行の振り返り

○1月19日:交通安全の映像を見て、ルールの勉強会

○2月16日:防災の映像を見て、ルールの勉強会

○3月2日:園内清掃

## 福祉人材の育成

見学希望の方には、手続き経た上で、随時見学していただきました。

### 【見学の受け入れ】

7月4日	就職フェア見学会	1名
7月12日	就職フェア見学会	2名
7月18日	HEROES	1名
7月19日	エコーンファミリー	1名
8月9日	インターンシップ生	2名
9月18日	リハビリセンターPT	1名
10月4日	飛鳥井ワークセンター実習生	1名
10月9日	司法修習生福祉現場研修	2名
10月22日	就活プログラム	1名
11月2日	1day体験	1名
11月12日	京都北部6福祉会	19名
2月19日	インターンシップ生	3名
2月26日	インターンシップ生	2名
3月8日	就職フェア見学会	1名
3月12日	就職フェア見学会	2名
3月20日	就職フェア見学会	1名

修光学園は、日常生活の自立と就労による社会参加を目指し、就労支援や生活支援を行なっています。  
作業活動は、陶芸班、クラフト班の2班で編成され、オリジナル製品の制作に取り組んでいます。



修光学園 森彩香さん(支援スタッフ)

佛教大学福祉学部2回生の夏に現場での実習を経験。障害を持つ人たちのアート作品に魅了されました。つい、やりすぎてしまい、利用者さんのされることを奪ってしまいそうなことも。限られた時間の中ではありますが、自立する姿勢を大切にしたいです。利用者さんの変化に気づいた時、この仕事に就いてよかったです。1年目なのでまだまだ学ぶことがたくさんです。

人と触れ合う楽しさを通して、作業やモノづくりを通して、欲しい

- ①生活介護事業所としての役割を強化していく中で、ご利用者一人ひとりに必要な支援を検討し、新たなプロジェクト等を日々活動の中に積極的に取り入れています。
- ②法人内の各事業所と情報共有し、日常業務や行事等での協力体制を構築するなど、日々の連携を深めました。
- ③法人マスタートップで譲われているHOLYLANDの建物の全面改築と法人事業再編の意義を全スタッフが認識できるように努め、積極的に事業推進への協力を行いました。
- ④相談支援事業所と連絡を密にとり、法人事業所内だけの対応ではなく、法人外の事業所とも連携するなど、広く地域での活動やご家庭への支援を行いました。
- ⑤法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームでは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。
- ⑥サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みの実施と集計などに年間を通して取り組みました。
- ⑦研修委員会と連携し、新規採用職員研修や階層別研修を計画的に企画し、実施しました。また、職員個々の研修、資格履歴とキャリアアップレベル指標の更新に取り組み、課題を明確にすることにより、職員の資質向上とキャリアアップに寄与するものとなりました。
- ⑧地域福祉推進委員会と連携し、園域および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都市北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画すると共に、京都市北部地域福祉ネットワーク推進部会を設置し、キックオフセミナーを開催しました。
- ⑨リスクマネジメント委員会と連携し、ひやりはつと例の収集を継続して行いました。ミーティングや申し込み等で、定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。
- ⑩働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果をうけ、働く環境に着目した活動に取り組みました。

## 事業の要点 修光学園

# 就労支援事業

2018年度の平均工賃  
8,056円

## クラフト作業・企業提携作業

さしこ布巾、縫製製品の製造販売、事業所オリジナル紅茶の袋詰めと販売  
ネジの袋詰め、箱折り、菓子の袋詰め、ねぎの加工作業、藍染め下請け作業

2017年11月に製菓作業がワークセンターHalle!へ移転し、同年11月より新規作業として(株)京都知七の九条ねぎの皮むき作業を取り組みました。徐々に取り組めるご利用者の数も増え、作業量も当初の50キロから20キロを超えるようになり、製菓作業の抜けた収入を穴埋めできるまでに至り、軌道に乗せることができました。他方、高工賃を目指すため作業活動の見直しを行い、広告ポスターイング、入浴剤の包装作業を中止し、ねぎの皮むき作業を活動の中心として取り組みました。

また、京鹿の子絞りふきんのししゅう下請け作業(藍染めをする前に絞る部分を縫う)は、ししゅう得意とされているご利用者を中心取り組んでいただきました。

2019年6月より改築工事開始が予定され



### 【販売先】

HOLY LAND飛鳥井店、京都ほっとはあとセンター、ぶらり嵐山、はあと・フレンズ・ストア、関西セミナーハウス、大原の土産物店、桂の泉、じねんと市場等に委託販売を行いました。各種バザー、販売会等で販売しました。中村鉄螺、北村紙器、日本情報サービスセンター、(株)斎王、(株)京都知七、嘉楽本舗株式会社たにぐち、紅茶俱楽部、和きた、チュラキューブ他



## 社会参加支援事業

### 【行事】

- 5/13(日)…京都グローバルワイスメンズクラブ  
ふれあい例会バーベキュー大会
- 5/23(水)…クラシックコンサートの集い
- 6/4(日)  
…ナイスハートふれあいのスポーツ広場
- 7/4(水)…レクリエーション
- 7/10(火)…レクリエーション
- 10/1(月)  
…社会福祉法人修光学園 設立記念式
- 11/18(日)…第31回修光まつり
- 12/15(土)…クリスマス会
- 1/19(土)…新春交流会
- 3/28(木)…お疲れさま会

## HOLY LAND利用者の会

### 【内容】

- 料理教室、日帰り旅行、レクリエーション等の内容の検討
- 職場環境についての検討と改善について話し合いました。
- 年間行事など予定の説明
- 2017年度の事業報告と2018年度の事業計画について説明会を開催しました。
- 地域交流活動の内容について話し合いました。
- 約束やルールについて話し合いました。
- 【活動結果】
  - 4月6日(金)、6月5日(火)、12月28日(金)、2月12日(火)、に利用者の会を開催しました。
  - 2018年度の事業の説明と2019年度の予定について説明をしました。
  - 日中活動中のトラブル予防のルールについて話し合い、改善に取り組みました。
  - 日帰り旅行・レクリエーションの行き先などを話し合い決定しました。

## 福祉人材の育成

見学希望の方には、手続きを経た上で、隨時見学していただきました。

### 【見学の受け入れ】

- 6月15日 同志社女子高校
- 9月12日 中央看護保健大学
- 9月14日 大谷大学
- 9月18日 立命館大学
- 10月5日 佛教大学
- 10月26日 佛教大学
- 11月5日 龍谷大学
- 11月12日 京都北部6福祉会
- 12月20日 みのりのもり劇場
- 1月25日 朝鮮中高級学校

# HOLY LAND

【就労継続支援B型】 HOLY LAND

一人ひとりのペースや思いを尊重し、  
気持ちいい環境をつくりたい

HOLY LANDは「働く場」として、ご利用者はそれぞれにやりがいを持って仕事に励まれています。

クラフト製品の制作、企業提携作業などに取り組む他、地域の方々との交流も盛んで、地域に開かれた場となっています。



### HOLY LAND 岡田康隆さん(社会福祉士)

佛教大学福祉学部卒、大学時代、ボランティアサークルで身体障害者の方の外出支援などをしていたので、そのままこの分野に就職しました。利用者さんには、毎日の挨拶や仲間との共同作業など、働くことを通じていろんなことを学び、社会性を身につけて欲しいと思います。また達成感ややりがいを得ることで、利用者さんにモチベーションを上げてもらいたいです。

①建物の全面改築に向けて、事前の諸準備を行いました。  
②新たな作業として(株)京都知七の九条ねぎの皮むき作業に取り組みました。皮むき作業の技術、スピードとともに、2月には国庫補助金の交付が内定し、説明会や個別面談を実施すると共に、工事期間中のご利用者の日中活動場所の確保に努めました。  
③ご利用者各自に合った社会経済活動への参加の促進、日中活動支援、生活支援等社会生活の充実に取り組みました。  
④法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームでは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。  
⑤サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。  
⑥サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。  
⑦地域福祉推進委員会と連携し、園域および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都市北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画すると共に、京都市北部地域福祉ネットワーク推進部会を設置し、キックオフセミナーを開催しました。  
⑧リスクマネジメント委員会と連携し、ひやり・はつと事例の收集を継続して行いました。ミーティングや申し込み等で、定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。  
⑨働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果をうけ、働く環境に着目した活動に取り組みました。

## 事業の要点 HOLY LAND

①建物の全面改築に向けて、事前の諸準備を行いました。

②新たな作業として(株)京都知七の九条ねぎの皮むき作業に取り組みました。皮むき作業の技術、スピードとともに、2月には国庫補助金の交付が内定し、説明会や個別面談を実施すると共に、工事期間中のご利用者の日中活動場所の確保に努めました。

③ご利用者各自に合った社会経済活動への参加の促進、日中活動支援、生活支援等社会生活の充実に取り組みました。

④法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームでは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。

⑤サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。

⑥サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。

⑦地域福祉推進委員会と連携し、園域および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都市北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画すると共に、京都市北部地域福祉ネットワーク推進部会を設置し、キックオフセミナーを開催しました。

⑧リスクマネジメント委員会と連携し、ひやり・はつと事例の收集を継続して行いました。ミーティングや申し込み等で、定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。

⑨働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果をうけ、働く環境に着目した活動に取り組みました。

# 就労支援事業

2018年度の平均工賃  
19,798円

## 製パン課

各種パンの製造、店舗販売、  
注文販売、出張販売

ご利用者  
16名

## 調理配食課

各事業所の昼食配膳、  
グループホームへの夕食配食

ご利用者  
10名

## 企業提携課

青果類の計量及び袋詰め作業  
ねぎの皮むき作業

ご利用者  
38名

前年度に引き続き、サ・マーシュ西川シェフから技術指導を受け、既存客層以外への訴求効果を高めるために新商品の開発や既存商品のブラッシュアップを行いました。また、作業工程を大幅に見直し、製造の効率化を図りました。

ご利用者に新たな取り組みに積極的に関わっていただき、その結果多くの利用者の方々に新たな技術を獲得していただくことができました。新規納品先として「桃林幼稚園」が加わり、毎月1回程度の納品を行うことで、売上の向上に繋がりました。

### 【販売先】

〈外販・委託販売先〉バブテスト看護学校、花友しかわ、ひとまち交流館、ハートビア京都、市原寮、京都ノートルダム女子大学、京都学歴彩館

〈定期注文〉養正保育所、北白川いづみ保育所、愛友保育園、鴨東幼稚園、桃林幼稚園

ワークセンターHalle!への昼食の配食を開始したことによると、HOLY LANDでの配食方法を変更しました。製造では指示書などを用い、ご利用者自身で作業を選択し、自分で考えながら作業に挑戦できるように取り組みました。また、調理技術向上のために、土曜出勤日を利用して、利用者の方々が考案したメニューを調理し、試食する機会を設けました。季節感のあるメニュー、新メニューを企画し、提供しました。食品衛生の徹底のために、手洗いの方法等についてイラスト入りの手洗い手順書を貼り出しました。また、担当職員が衛生管理に必要な研修(HACCP、ノロウイルス対策)を受講しました。

### 【取引先】

飛鳥井ワークセンター、HOLY LAND、修光学園、修光学園ディアコニアセンター、ワークセンターHalle!、修光学園グループホーム、修学院手をつなぐ会

企業提携課は、これまで青果部と製品加工部の2部門にわかれていますが、今年度から2部門を統合し、当事業所のご利用者の半数以上が所属する作業課になりました。企業提携課では、地元企業3社から作業を受託し、ご利用者への就労支援を行いました。(株)なかむらの作業では、「施設外就労」の場として野菜の袋詰め作業を中心に就労支援を行なう中で、1名のご利用者が生鮮館なかむら白川店で職場実習を行い、その結果1日2時間の雇用契約を結ぶことができました。前年11月から取り組みを始めたねぎの皮むき作業は、当初60kg/日程度の生産量であったものが、約1年を経過する中で利用者の方々のスキルアップや意欲の向上により200~300kg/日の生産量を上げられるようになりました。(株)グレースたなかとは協議の結果、加工販の見直しが行われる見込みとなりました。

### 【取引先】

(株)生鮮館なかむら、(株)グレースたなか、(株)京都七他

## 就労移行支援事業

### 就労移行支援…ご利用者2名

ご利用者一人ひとりの目標や課題にあわせて、飛鳥井ワークセンター各

業課でのトレーニングに取り組んでいます。また、必要に応じてビジネスマナー学習会を実施しました。就労移行支援関係諸機関との連携を通じて、担当スタッフの質の向上と、障害者雇用についての情報収集に努めました。4月に1名の方が企業就労されました。

### 【提携先】

京都市障害者就業・生活支援センター、ハローワーク(京都障害者職業相談室)、京都障害者職業センターなど

京都市保健福祉局障害保健福祉推進室、他の就労移行支援事業所

## 福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極的に実施しました。

### 【研修・実習の実施】

8月20日~9月21日 大谷大学 1名 社会福祉士資格取得実習  
8月20日~9月26日 立命館大学 1名 社会福祉士資格取得実習  
8月27日~9月1日 福祉職場インターンシップ 2名  
10月1日~11月2日 佛教大学 1名 社会福祉士資格取得実習  
10月9日 司法修習生福祉現場研修 2名 施設・作業見学  
11月12日 京都北部6福祉会 19名 作業見学  
11月14日~16日 るうてるホーム 2名 現任職員現場研修  
2月18日~22日 福祉職場インターンシップ 2名  
2月25日~3月1日 福祉職場インターンシップ 3名

# 飛鳥井ワークセンター

【就労移行・就労継続支援B型】 ASUKAI WORKCENTER

毎日過ごす、この場所が  
楽しくて、居心地よくなるように

飛鳥井ワークセンターは、従業員の自己選択と自己決定を尊重し、就労による自己実現を支援しています。

就労支援では、製パン課、企業提携課、調理配食課に分かれた就労の機会を提供するとともに、

生活面の充実に向けた支援に取り組んでいます。



### 飛鳥井ワークセンター 竹内ちさきさん(支援スタッフ)

龍谷大学 短期大学部 社会福祉学科卒。ひいおばあちゃんが認知症になったことをきっかけに、福祉に興味を持ちました。就労支援、生活介護など多岐にわたるサービスも就職の決め手でした。現場では、言葉だけのコミュニケーションの難しさ、利用者さんとの信頼関係を築くことの大切さを感じています。毎日いろんなことが新鮮で、この仕事を選んでよかったと思っています。

### 事業の要点 飛鳥井ワークセンター

①生活活動及び就労支援  
【就労移行支援】  
1名の方が一般企業に就職されました。京都市北部障害者地域自立支援協議会に就労支援部会を設置し、就労移行支援にかかる情報有や部会主催合同OBC会ボーリング大会を実施致しました。

【就労支援B型】障害のある方々に働きがいをもつて仕事に取り組んでいただき、より高い工賃をお支払いする」という飛鳥井ワークセンターの事業目的に適った新規事業の開拓既存の提携作業の見直し等に取り組みました。中小企業家同友会に入会し、企業経営について実践を学ぶとともに目標工賃の達成に向けて課題解決に継続して取り組みました。製パン課がサ・マーシュのオーナーシェフ西川氏に引き続き技術指導をしていただきました。日本セルブセンターワークセンターに限り、全国の障害者施設の製パン技術向上的ための勉強会に参加しました。調理配食課が定期的に発注業者企画の展示会に参加し、新メニューの提供に努めました。作業工程の見直しや利用者の働く意識の向上に向けて、修光学園グループ会に取り組みました。

②法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームでは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者へのサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに時間をかけて取り組みました。

③サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みの他、サービス向上セルフチェックシートにてスタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月の全体会員研修では、華頂短期大学の武田康晴教授を講師に迎え、「サービスの質の向上を目指して、社会福祉援助の基礎を学ぶ」と題した研修を行なうなど、広く虐待・身体拘束防止の取り組みを行いました。

④研修委員会と連携し、新規採用員研修や階層別研修を計画的に企画し、実施しました。また、職員個々の研修、資格履歴とキャリアアップレベル指標の更新に取り組み、課題を明確にすることにより、職員の資質向上とキャリアアップに寄与するものとなりました。

⑤地域福祉推進委員会と連携し、園地および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画するなどして、京都北部地域福祉ネットワーク推進会を設置し、キックオフセミナーを開催しました。

⑥リスクマネジメント委員会と連携し、やり・はつと事例の収集を継続して行いました。ミーティングや申し送り等で定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。

⑦働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果を受け、働く環境に着目した活動に取り組みました。

# 就労支援事業

2018年度の平均工賃  
33,441円

## 製菓事業

ご利用者  
8名

各種洋菓子の製造、  
委託販売、注文販売、店舗販売

子どもの日、ハロウィンはイベントを開催、  
クリスマスはケーキ販売(予約)、バレンタ  
イン、ホワイトデーと期間限定商品を製造、  
販売を行い販売促進に努めました。

叡山電鉄のリーフレット、一日乗車券のチ  
ラシにも広告掲載しました。また京阪神工  
ルマガジン社「京都本」にも記事が掲載さ  
れました。1月24~26日には店舗の1周年  
記念イベントを実施しました。

●京都ノートルダム女子大学のオリジナル  
商品を開発・製造し、販売を開始しま  
した。

●京都青谷梅工房の城州白、宇治田原茶  
農喜左衛門の抹茶を使用した商品開発を  
進め、販売を開始しました。

●高島屋オンラインで蜜玉まどりーぬが  
お中元・お歳暮の常設販売商品となりま  
した。

### 【販売先】

茶山 sweets Halle、HOLY LAND飛鳥  
井店、京都ほっとはあとセンター各店舗、  
じねんと市場、関西セミナーハウス、京都  
紅茶俱楽部、はあと・フレンズ・ストア、高  
島屋(オンラインストア)等の委託販売  
店のほか、各種バザー販売会等で販売

### 【取引先】

京都紅茶俱楽部



## 紙器加工事業

ご利用者  
22名

箱折り、企業提携、他

事業所の工事に合わせ、作業場所の変更  
等に対応、安定して作業が行えるように環  
境整備を行いました。企業と連絡を密にし、  
作業量の安定化に取り組みました。売り上  
げを上げた状態で、期間の作業量の急増、  
急減などを調整し、作業量の安定供給をす  
ることができました。販路の拡大として、新  
たに「雅」の取引を始め、工賃の向上につ  
なげることができました。

### 【提携先】

山田紙業、コトブキ、福見印刷、昭和梱包、  
グラウント、株式会社平安、ISA、雅、他

## 福祉人材の育成

福祉人材の育成に資するための研修等を積極  
的に実施しました。

### 【研修・実習の実施】

7月4日…就職フェア見学会 1名  
4月9,16,23日5月2,9,16,23日…チャレンジ就  
労体験 1名  
9月3日~9月14日…京都ノートルダム女子大学 2名  
9月5日…大谷大学 1名  
9月6日…立命館大学 1名  
9月12日・13日…京都中央看護保健大학교 2名  
10月9日…司法修習生福祉現場研修 2名  
10月25日…佛教大学 1名  
10月30日…1dayチャレンジ 1名  
11月1日~12月7日…龍谷大学 1名  
11月12日…京都北部6福祉会 19名  
2月18日~2月22日…福祉職場インターンシッ  
プ(京都府) 2名

# ワークセンター Halle!

[勤労継続支援B型事業] WORKCENTER HALLE!

一緒に成長するのが『やりがい』です

みんなの気持ちを共有し

ワークセンターHalle!は、従業員の皆さんがあ自立した社会生活を営むことができるよう、  
就労の機会を提供し、活動を通じて、知識及び能力向上のために必要な支援を行なっています。



ワークセンター Halle! 春木智沙都さん(社会福祉士)

高知県立大学 社会福祉学科卒。大学生活でのボランティア経験で、障害を持つ方々への就労支援に関心を持ちました。現在は菓子製造活動、接客等を通じてご利用者の社会参加の促進を図り、個人、グループの能力を引き出すための環境作りを行っています。それぞれの強みを発揮あって、仕事が上手くまわっている時は、よしよしと心の中でガツポーズをしています。

## 事業の要点 ワークセンター Halle!

① 店舗にて周期イベントや、季節ごとのイベントを行い、その都度地域にチラシを配布し、お店の認知度を上げる取り組みを行いました。生産者の方々との共同開発を継続し、新たな商品も誕生しました。京都ノートルダム女子大学とオリジナル商品を開発しました。また、高島屋オンラインでは新たにバウムクーヘンの販売も開始しました。

② 法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームでは、法人事業の再編に向けた意見集約や他法人事業所の見学、ご利用者へのサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通じて取り組みました。

③ サービス向上セミフルチェックシートにてスタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月の全体職員研修では、華頂短期大学の武田康晴教授を講師に迎え、「サービスの質の向上を目指して、社会福祉援助の基礎を学ぶ」と題した研修を行ななど、広く虐待・身体拘束防止の取り組みを行いました。

④ 研修委員会と連携し、新規採用職員研修や階層別研修を計画的に企画し、実施しました。また、職員個々の研修、資格履歴とキャリアアップレベル指標の更新に取り組み、課題を明確にすることにより、職員の資質向上とキャリアアップに寄与するものとなりました。

⑤ 地域福祉推進委員会と連携し、園域および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都市北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画すると共に、京都市北部地域福祉ネットワーク推進部会を設置し、定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。

⑥ リスクマネジメント委員会と連携し、やはりはとと事例の收集を継続して行いました。ミーティングや申し送り等で、定期的に法人内全事業所の報告と事例分析を行い、発生時間・場所・傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。

⑦ 働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果をうけ、働く環境に着目した活動に取り組みました。

## 社会参加支援事業

5月23日(水)…クラシックコンサート  
6月4日(月)…慰労会  
6月15日(金)…慰労会(紙器加工班)  
8月4日(土)…食事慰労会  
10月1日(月)…社会福祉法人修光学園設立記念式  
10月15日(月)…日帰り旅行  
12月17日(月)…クリスマス会  
1月5日(土)…新年会



## 地域との連携と地域福祉の推進・啓発活動

【見学の受け入れ】  
4月3日…社会福祉士実習生(飛鳥井ワークセンター) 1名  
4月23日…ボランティア 1名  
4月26日…京都中央看護学校 1名  
5月2日…京都ノートルダム女子大学酒井ゼミ 5名  
5月17日…京都市立東総合支援学校生 3名  
6月13日…佛教大学生(飛鳥井ワークセンター実習) 1名  
7月12日…見学者 1名  
7月19日…全国社会就労センター協議会副会長 1名  
8月29日…福祉職場インターンシップ(飛鳥井ワークセンター) 2名  
8月29日…社会福祉士実習生(飛鳥井ワークセンター) 2名  
10月4日…社会福祉士実習生(飛鳥井ワークセンター) 1名  
10月18日…京都教育大学付属特別支援学校 8名  
10月22日…就活サポート 1名  
10月30日…1Dayチャレンジ 1名  
11月2日…1Dayチャレンジ 1名  
11月2日…修学院小学校教員 2名  
11月14日…京都市立東総合支援学校 3名  
11月29日…京都市立北総合支援学校 3名  
11月30日…京都知福 生産活動・就労支援部会 7名  
12月25日…利用希望者見学 4名  
1月29日…京都市立北総合支援学校 3名  
3月1日…京都市立北総合支援学校 3名  
3月8日…就職フェア見学会 1名  
3月12日…就職フェア見学会 2名  
3月20日…就職フェア見学会 2名

# 地域生活支援・相談支援事業

## 居宅介護事業・ 移動支援事業

利用希望に応えるためのヘルパー数が充足できず、他法人の居宅介護事業所と連携を取りながら適正なサービス量を維持することに努めました。また既存事業の拡大に向けて、人材確保に努めました。

移動支援事業のグループ支援型を積極的に活用し、多くのご利用者にサービスを利用していただきました。また、定期的に実施している「グループ移動支援企画」も年度内に5回開催し、好評をいただきました。

居宅介護等サービスの安定化、技術向上と、ヘルパーの質の向上を目指し、毎月居宅介護事業の支援会議を開催しました。その内容を共有することで利用者間連の情報共有を促進しました。

## グループ移動 支援企画

・6月24日 ボーリングとピアガーデンを楽しもう!	10名
・8月4日 修学院学区夏祭りに参加しよう!	4名
・10月6日 滋賀県立琵琶湖博物館へ行こう!	8名
・12月29日 カラオケ店で忘年会をしよう!	12名
・1月12日 カラオケ店で新年会をしよう!	11名



## 共同生活援助事業 (グループホーム)

通院付き添いや服薬管理・服薬介助が必要な方が増え、日々の健康管理を強化し、バイタルチェックの実施、記録作成、申し送りの徹底などの取り組みを行いました。医療機関との連携では、三嶋医院(修学院)やいわさきクリニック(岡崎)、吉田歯科医院(浄土寺)などの地域の医院との良好な関係が樹立でき、実際に医療相談や診察に繋がっています。

新たに、バブテスト訪問看護ステーションしおん(北白川)と法人間業務提携を結び、週1回の定期訪問を開始しました。また、平安調剤薬局(岡崎)とも連携を開始し、在宅患者訪問薬剤管理指導を受けています。

## 特定相談支援事業 (相談サポート「まるく」)

サービス等利用計画の作成のために必要な書類の準備、ご利用者・ご家族への説明、法人内事業所の職員への説明と協力体制の確立など、円滑なサービス提供が可能となるように事業を進めました。また複数法人のサービスを利用されているご利用者にも安定した支援を提供するために担当者会議を開催し、関係者と情報共有を行いました。

サービス提供で使用する書類については、内容を見直し、より良く、より分かりやすい様式へと随時変更を加えました。ご利用者やご家族の健康状態の変化に応じて、必要な福祉サービスについて相談に応じると共に、将来の生活スタイルについても相談支援を行いました。

## 短期入所事業 (修光学園ショートステイ「ikoi」)

新規開設にあたって、体制整備と運営形態の確立に取り組みました。グループホーム「グロリア岡崎」の1室をショートステイとして使用するため、グループホーム運営の体制整備と並行してショートステイ事業の準備にあたりました。常時の利用者受け入れは体制上難しく、緊急的なご利用に限って受け入れを行い、年間で7名のご利用がありました。



## 福祉人材の育成・ 地域との連携

**福祉人材の育成**  
見学の希望があった場合には、必要な手続きを経て、随時見学していただきました。

**【見学の受け入れ】**  
9月11日…立命館大学・大谷大学 2名  
飛鳥井ワークセンター実習生一日体験(社会福祉士資格取得実習)  
**地域との連携**  
京都市北部障害者地域自立支援協議会に継続加入し、ネットワーク作りのために地域の事業所、関係機関、団体と交流を図りました。修学院手をつなぐ会に月3回程度、修学院学区九条の会に月1回程度共有スペースの提供を行いました。  
8月5日…修学院各種団体連絡会、修学院小学校、他 修学院学区夏祭り出展  
8月22日…左京区内の障害者支援事業所、関係機関 自立支援協議会・地域福祉推進セミナー開催  
随時…修学院手をつなぐ会、修学院学区九条の会、他 共有スペースの提供

# 修光学園 ディアコニアセンター 修光学園 グループホーム

[居宅介護等事業・グループホーム・特定相談支援] DIAKONIA CETER

結果も過程も大切。  
気持ちに寄り添つて

ディアコニアセンター及び、グループホームでは、住み慣れた地域で安心して日常生活を営むことができるように、身体の介護、家事の援助、移動の支援、相談や助言、その他の日常生活上の必要な支援を行なっています。



## 事業の要点 修光学園ディアコニアセンター／修光学園グループホーム

①全てのスタッフの質の向上を目指し、定例のスタッフ会議や実際の勤務時に支援方策の検討や技術指導等を行いました。また、資格取得や事業所内・事業所外の研修への参加を奨励し、ガイドヘルパー、强度行動障害支援者養成研修、相談支援従事者初任者研修等の資格研修を受講しました。

②新たなガイドヘルパーの養成と、地域福祉のさらなる向上を目的に、10月20日・21日に京都市移動支援事業従事者養成研修を実施し、8名が修了されました(京都ノートルダム女子大学との共催)。

③戸建て型グループホーム「グロリア岡崎」の開設から3年が経ちました。ご利用者は主として健康面での変動が大きく、こまめな体調管理と医療機関との連携に努め、スタッフには介護技術のスキルアップを奨励しました。

併設したショートステイは、スタッフ人員の課題、ホーム入居者の状況を鑑みて、緊急時の利用に限定して受け入れを行い、年間で7名の利用がありました。

④特定相談支援事業は、法人内通所事業所のご利用者を中心に計画作成業務に取り組み、2018年度末で利用契約者145名となりました。また、計画作成業務だけで急対応なども適宜実施させて頂きました。

⑤京都知的障害者福祉施設協議会に継続加入し、全国規模の情報入手や研修会への参加、事業所間交流などが活発になる成果が得られました。尚、ディアコニアセンターは地域支援部会長施設として活動しました。

⑥法人内に設置したドリームプロジェクト推進チームで

⑦サービス向上委員会と連携し、自己評価の取り組みの他、サービス向上セルフチェックシートにてスタッフの支援の質の向上を図りました。また、9月の全体職員研修では華頂短期大学の武田康晴教授を講師に迎え「サービスの質の向上と集計などに年間を通して取り組みました。

⑧研修委員会と連携し、新規採用職員研修や階層別研修を行なない、広く虐待・身体拘束防止の取り組みを行いました。

⑨地域福祉推進委員会と連携し、園域および事業所周辺の地域福祉のさらなる向上に努めました。また、京都市北部障害者地域自立支援協議会に積極的に参画すると共に、京都市北部地域福祉ネットワーク推進部会を設置し、キックオフセミナーを開催しました。

⑩リスクマネジメント委員会と連携し、ひやりはつと事例の収集を継続して行いました。ミーティングや申し送り等で、定期的に法人内事業所の報告・事例分析を行い、発生時間、場所、傾向等を明らかにし事故予防に取り組みました。

⑪働きやすい職場づくり検討会議と連携し、前年度に実施したアンケートの結果をうけ、働く環境に着目した活動に取り組みました。

### 長井浩二さん (社会福祉士・相談支援専門員)

龍谷大学福祉学部卒。相談支援を主に担当。利用者さんの生活全体を考えて、よりよい暮らしができるようにお手伝いすることを心がけています。情報は日々変わるので、週に3回は利用者さんの職場を訪問し、情報を共有することを大切にしています。細々とした作業が多いですが、組織全体の何でも屋さんのような立場を今後も極めていきたいです。



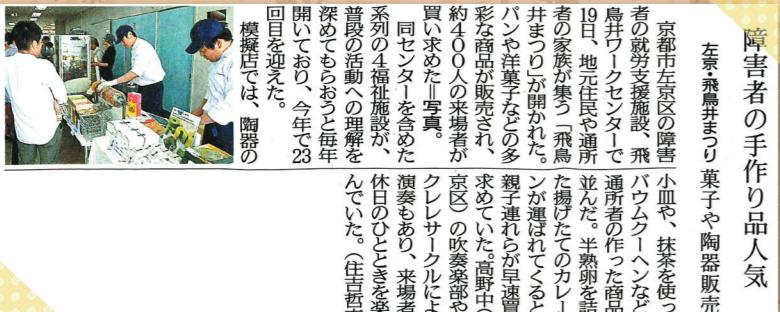
⑩全てのスタッフの質の向上を目指し、定例のスタッフ会議や実際の勤務時に支援方策の検討や技術指導等を行いました。また、資格取得や事業所内・事業所外の研修への参

見学・ご利用者のサービス利用に係るニーズ調査の実施と集計などに年間を通して取り組みました。

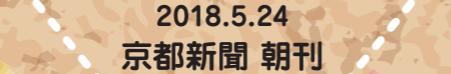
# メテイア 掲載

A decorative banner featuring large, bold numbers '2018' in white against a pink and orange background.

今年も修光学園の活動を  
取上げてもらいました



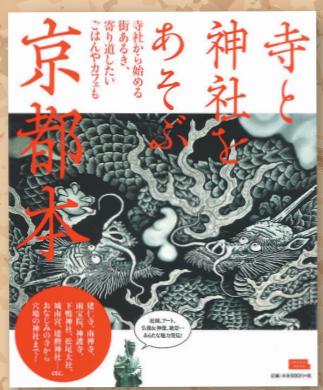
2018.5.20  
京都新聞



ソックコンサートを満喫する来場者



2018.9.4  
京阪神エルマガジン社発刊  
ひとりで歩く京都本



2019.3.5  
京阪神エルマガジン社発刊  
寺と神社をあそぶ京都本



**茶山sweets Halle**  
[茶山] map P8 B-3

上古精英の同時代

こう蜂窓の風味が濃厚な木枠を使った茶山ロールや蜜玉まだれーぬなど、京都素材の詰まったスイーツが魅力。●京都市左京区田中北春菜町14-1 ☎075-706-2402 10:30~18:00(土・祝は~17:00) 日・月曜&第1・3・5土曜休 カード不可



香りや食感にこだわり

コンテストは京都の食材を使つて  
条件へと募りされ、薺と玉ねぎの2  
部門による施設から計の品がエント  
リー。同センターは「明治150  
年京都創生」をテーマに両館で  
1品ずつを開発し、「一般投票」によ  
る「ハーモンリー」と「審査特別  
賞」の全4賞を総なめにした。  
薺と玉ねぎはほんじ茶の香りと小  
豆、栗の甘みが広がる「焙煎」。  
市電のよくな形やしつとりとした  
食感にひだわった。緑茶パンは琵琶  
湖疏水通船をイメージした形の  
「京舟舟」。九条ねぎの甘みと柔  
らかな餅の食感を、優しい味の白  
みを引き立てる。

同センターでは知的障害のある  
16人が働く。計量や成形、焼成な  
ど多様な工程をこなす。石田靖輔  
センター長(41)は受賞を避け  
「一人一人が輝ける場をつくれた  
ことがうれしい」とほほえむ。

同センターのパンは左近区田中  
飛鳥井町のスーパー「グレースた  
なか」内直営店で貰え、受賞作2  
品も今後販売予定。同センター、O

障害のある人がパン作りに励む京都市左京区の「飛鳥井ワークセンター」が、府内の障害者施設を対象に先月開かれたパンコンテスト「カリーあすのkyotoカップ2018」で全4部門の受賞を果たしました。香りや食感にこだわった本格的な商品が日頃から人気を集めている中、職員は「今後も満足してもらえる商品を作りたい」と意気込む。

## 害者就労の左京・飛鳥井ワークセンター



市電の形を模した「焙香」(右)と、琵琶湖疏水を通る船をイメージした「京味舟」(左)=京都市左京区・飛鳥井ワークセンター

パソコンテスト 全部門受賞

# 社会福祉法人修光学園 沿革

1985年 4月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」開設
1987年 10月	社会福祉法人修光学園設立
1988年 5月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」開設
1988年 6月	知的障害者通所授産施設「修光学園」開設(定員30名)
1991年 2月	修光学園の「練り込み着置き」が 京都府主催第2回ベストデザインコンテストに入選
1991年 4月	心身障害者通所援護事業「修学院学舎」再開
1994年 6月	修光学園専用店舗「HOLYLAND」(心身障害者通所援護事業)開設
1996年 4月	知的障害者通所授産施設「京都市飛鳥井学園(飛鳥井ワークセンター)」 受託経営(定員50名)
1996年 6月	飛鳥井ワークセンター専用店舗「HOLYLAND 飛鳥井店」開設
1996年 8月	阪神淡路大震災救援活動で厚生大臣表彰受賞
1999年 7月	レスパイトサービス事業(法人独自事業)開始
2000年 10月	京都市グループホーム体験事業「エクセレント修学院」開設
2001年 1月	修学院学舎の「ミニミニ香炉」が京都デザイン優品2001に認定
2002年 4月	心身障害者通所援護事業「ワーキングアスク」開設
2002年 6月	社会福祉法人修光学園評議員会設置
2002年 10月	グループホーム「エクセレント修学院」(定員5名)が国基準に移行
2002年 11月	修学院学舎の「飯盒花器」が京都デザイン優品2003に認定
2003年 9月	修学院学舎を小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」に移行(定員19名) 飛鳥井ワークセンター製造「オニオブレッド」が 第1回ユニバーサルベーキングカップで大賞受賞
2004年 4月	「HOLYLAND」を移転、修光学園分場に移行(定員5名)
2004年 4月	第IIグループホーム「グリーンビュー宝ヶ池」(定員4名)開設
2004年 4月	修光学園の定員を35名に増員
2005年 3月	小規模通所授産施設「修光学園修学院学舎」を廃止し 4月より分場「HOLYLAND」に統合
2005年 3月	心身障害者通所援護事業「ワーキングアスク」を廃止し 4月より飛鳥井ワークセンターに統合
2005年 4月	修光学園分場「HOLYLAND」の定員を19名に増員
2005年 4月	飛鳥井ワークセンターの定員を60名に増員
2005年 4月	居宅支援事業「修光学園ディアコニアセンター」開設
2005年 6月	「修光学園ディアコニアセンター」が 身体障害者・知的障害者・児童居宅介護事業所として認可
2005年 12月	飛鳥井ワークセンター製造「おさつデニッシュ」が 第2回ユニバーサルベーキングカップで審査員特別賞受賞
2006年 1月	修光学園の「ちぎり絵はがき」が京都投産振興センター製品コンペで特別賞受賞
2006年 2月	HOLYLANDの陶器「六角扁壺」が京都デザイン優品2006に認定
2006年 10月	2カ所のグループホームを障害者自立支援法に基づく 「共同生活介護・共同生活援助事業」に移行
2006年 10月	修光学園ディアコニアセンターの事業を障害者自立支援法に基づく 「居宅介護事業」と京都市「移動支援事業」に移行
2008年 10月	「社会福祉法人修光学園」を商標登録
2009年 4月	HOLYLANDを障害者自立支援法に基づく新事業体系 「就労継続支援B型」に移行
2010年 4月	HOLYLANDの定員を30名に増員
2011年 9月	修光学園を障害者自立支援法に基づく新事業体系「生活介護事業・就労継続支援 B型」に、飛鳥井ワークセンターを「就労移行支援事業・就労継続支援B型」に移行 飛鳥井ワークセンター製造「だだちゃ豆ベーグル」が 第5回チャレンジドカップで誠心医学園理事長賞受賞
2011年 11月	特定相談支援事業「修光学園ディアコニアセンター 相談サポート「まるあるく」」開設
2015年 2月	グループホーム「エクセレント修学院」の定員を8名に増員
2015年 11月	飛鳥井ワークセンター製造「クロワッサン・京・ザマンド」が 第7回チャレンジドカップで殊勲賞受賞 グループホーム「グロリア岡崎」を開所し、
2016年 4月	「エクセレント修学院501号室」を開所、定員17名となる 短期入所事業・修光学園ショートステイ「ikoi」を グロリア岡崎内に開設(定員1名)
2016年 9月	飛鳥井ワークセンターが京都市より障害者就労支援優良施設市長表彰を受賞
2017年 4月	社会福祉法人伸久会を吸収合併し、 新事業所「ワークセンターHalle!」(就労継続支援B型・定員20名)を開設
2017年 12月	ワークセンターHalle!に製菓工房を増設、HOLYLANDの製菓事業を移転 (HOLYLANDの定員を20名に変更)。ワークセンターHalle!の定員を30名に増員。
2018年 1月	洋菓子店「茶山sweet Halle」を「ワークセンターHalle!」内に開設 京都市植物園で行われた、パティスリーあすの京都カップにて、
2019年 11月	ワークセンターHalle!製造 「米幸パウム」が、通行人100名から選ばれる 『グランプリ』と、7名の審査員から選ばれる『審査員優秀賞』の2冠を受賞

# 社会福祉法人修光学園 (2020年3月1日現在) 評議員・役員等名簿

理事	石室 良孝 (福)愛友会 理事長
理事	加藤 俊明 (公財)京都YMCA 総主事・代表理事 (学)京都YMCA学園常務理事・国際福祉専門学校校長
理事	末田 啓二 甲子園短期大学 特任教授
理事	土井 起 土井公認会計士事務所 会長
理事	森 のり子 (福)修光学園 修光学園 園長
理事	森 亮 (常務理事) (福)修光学園 修光学園ディアコニアセンター センター長
監事	平尾 嘉晃 第三者委員 中村法律事務所所属 弁護士
監事	脇田 宣 第三者委員 (福)白川学園 理事長
評議員	大谷 實 公益財団法人世界人権問題研究センター 理事長
評議員	岡崎 祐司 佛教大学 社会福祉学部教授
評議員	榎本 栄次 (公財)日本クリスチヤンアカデミー 関西セミナーハウス活動センター 所長
評議員	平尾 剛之 (一財)社会的認証開発推進機構 専務理事・研究主幹
評議員	三木 恒治 (福)恩賜財団済生会 滋賀県病院 院長 京都府立医科大学 泌尿器先端医療講座 特任教授
評議員	光延 博 日本福音ルーテル修学院教会 牧師
評議員	山田 榮一 (福)京都市左京区社会福祉協議会 会長

# 2018委員会活動

## リスクマネジメント 委員会

## 地域福祉 推進委員会

## サービス向上 委員会

## 研修委員会

## 実習等受入 担当者会議

全職員を構成員とする5つの委員会。各々の分野における課題を整理・改善するために年間を通じて活動しています。

## サービス向上の取り組み

社会福祉法人修光学園では年に1度、サービス向上をテーマとした全体職員研修を開催しています。非常勤スタッフ、ヘルパー、スタッフなども対象とする研修で、スタッフ間の交流にも大きな役割を果たしています。

日時:2018年9月1日(土)

テーマ:「サービス向上を目指して

~利用者主体・権利保障の視点から~

講師:華頂短期大学幼稚教育学科 教授 武田 康晴 氏

14:00~15:10 前期全体会議

15:10~15:20 考察～セルフチェックシートの結果から～(川西)

15:20~15:40 障害者虐待の現状及び

虐待対応マニュアルの理解(森)

講義と意見交換(武田先生)

・講義(70m)・意見感想、質問等(20m)

## ◎支援者の言葉・行動の意味

・個別支援には、利用者、家族のニーズに対する

支援内容を適切に記載できていますか?

・支援計画に当たって考えられるリスクまで説明で

きていますか?

・皆さんが利用者さんに投げかける言葉には意味、

目的がありますか?

・皆さんの利用者さんに対する行動には意味、目的

がありますか?

・利用者さんご家族が求めている支援ができるてい

ますか?

・皆さんが利用者さんに対する行動には意味、目的

がありますか?

・利用者さんご家族が求めている支援ができるてい

ますか?

・皆さんが利用者さんに投げかける言葉には意味、

目的がありますか?

・皆さんの利用者さんに対する行動には意味、目的

がありますか?

## ご支援くださいました方々

(2018年4月1日~2019年3月31日 順不同・敬称略)

## &lt;ご寄附&gt;

浅井晴子 石田愛 石室良孝 井藤寿人  
 猪田正 今村壽子 上野信一 上野み代子  
 梅田吉邦 梅原悦子 江頭清 大木憲一  
 小笠原和雄 加藤輝雄 加藤尚美  
 北芝秀一 木本文子 計良夏哉  
 小谷武一郎 小松寿美子 佐久間正幸  
 佐々木柳子 佐藤温子 塩田陽 末田啓二  
 高田敏尚 高田撫子 武上久代 田中幸  
 谷脇健太 檀林アケミ 土屋彰男  
 富嶋祥弘 中川永一 中原俊輔・秀子  
 長畠恵子 中藤喜美子 中村健吾  
 西田正彦 野口穂 花城裕一朗 林徹  
 藤崎裕子 細見朋世 卷田茂 増田和子  
 櫻木武敏 松本美都子 馬庭京子  
 三木恒治 三鶴隆之 峯芳徳・明子  
 三宅富子 牟田澄子 森のり子 森亮  
 八木澄子 山田紹平 横内千加子・歩  
 驚見和子  
 愛友保育園 あむりた  
 市原寮 鶴東幼稚園  
 花友しらかわ 北白川いづみ保育園  
 京都グローバルワיזメンズクラブ  
 京都市子ども文庫連絡会  
 京都市社会福祉協議会  
 京都ノートルダム女子大学  
 京都市長寿すこやかセンター  
 京都SKYセンター  
 京都府社会福祉事業団  
 鴨東幼稚園  
 京葉苑(株)花ゆう  
 京都グローバルワיזメンズクラブ  
 建都住宅販売(株)井上誠二  
 株式会社小寺工業小寺智之  
 西院自動車工作所本持宏和  
 ジェイアイシーウエスト(株)  
 修学院学区社会福祉協議会 朱常分店  
 吹奏楽団PALWINDS 聖光教会  
 西都教会 西都教会婦人会 赤山町内会  
 同志社高等学校 同志社女子高等学校  
 吉田歯科医院吉田真 修光学園家族会  
 飛鳥井ワークセンター家族会  
 ワークセンターHalle!家族会  
 (計5,428,000円・ドリームプロジェクト  
 寄附金を含む)

## &lt;後援会を通じて&gt;

内田泰子・順子 錦林教会  
 修学院手をつなぐ会 竹下亘・八千代  
 中島康文 奈倉道隆 林徹 三宅孝  
 (計39,800円・祈念碑維持募金を含む)

## &lt;ボランティア/協力団体&gt;

【ボランティア】  
 浅田祐奈 岡村操 小泉小枝 富永佳恵  
 二浦淳子 長谷川幹 堀富男 堀野倫子  
 前田達彦 村上悦子 山田隆  
 京都ノートルダム女子大学酒井ゼミ  
 京都市左京地域女性連合会  
 修学院学区社会福祉協議会  
 養正学区社会福祉協議会

## &lt;委託販売協力&gt;

アノニム・ギャラリー 大原魚山園  
 桂の泉 café & goods B.S.C  
 喫茶ほっとはあと府店・御池店  
 京鹿の子絞振興協同組合  
 京都ノートルダム女子大学  
 京都紅茶俱楽部 さらら館  
 株グレースたなか ジェンと市場  
 ㈱高島屋オンラインストア たんぽぽの家  
 注文の多い交差点ドツテ チュラキューブ  
 つきとはな 同志社中学校  
 日本クリスチヤンカデミー関西セミナーハウス  
 猫猫寺 heart garden  
 ハートプラザKYOTO  
 はあと・フレンズ・ストア びあひと・まち  
 ぶらり嵐山  
 【業務提携協力】  
 ISA ぎおん匠心庵 有北村紙器工業所  
 京都紅茶俱楽部 株京都知七  
 グラウント (有)グラント

クリーンスペース株式会社  
 株グレースたなか  
 コトブキ株式会社 株齋王  
 リジャパンビバレッジホールディングス  
 昭和梱包株式会社 株信防エディックス  
 株にぐち 株なかむら  
 中村鉄螺株式会社  
 福見印刷企画株式会社 株平安  
 雅ハンドワークサービス  
 山田紙業株式会社 和きた  
 【定期購入協力】  
 愛友保育園 あむりた  
 市原寮 鶴東幼稚園  
 花友しらかわ 北白川いづみ保育園  
 京都グローバルワיזメンズクラブ  
 京都市社会福祉連絡会  
 京都市社会福祉協議会  
 京都ノートルダム女子大学  
 京都市長寿すこやかセンター  
 京都SKYセンター  
 京都府社会福祉事業団  
 鴨東幼稚園  
 京葉苑(株)花ゆう  
 京都グローバルワיזメンズクラブ  
 建都住宅販売(株)井上誠二  
 株式会社小寺工業小寺智之  
 西院自動車工作所本持宏和  
 ジェイアイシーウエスト(株)  
 修学院学区社会福祉協議会 朱常分店  
 吹奏楽団PALWINDS 聖光教会  
 西都教会 西都教会婦人会 赤山町内会  
 同志社高等学校 同志社女子高等学校  
 吉田歯科医院吉田真 修光学園家族会  
 飛鳥井ワークセンター家族会  
 ワークセンターHalle!家族会  
 (計5,428,000円・ドリームプロジェクト  
 寄附金を含む)

修光学園の活動をお支え下さい

法人へのご寄附は確定申告により  
 税制上の優遇措置が受けられます

<郵便振替口座>  
 01060-2-65843  
 社会福祉法人修光学園  
 代表者 森 のり子

<銀行振込口座>  
 京都銀行修学院支店(普通)771742  
 社会福祉法人修光学園  
 理事長 森 のり子

2019年3月31日現在

## 貸借対照表

資産の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	107,896,400	130,352,493	△ 22,456,093
現金預金	35,150,622	52,625,921	△ 17,475,299
有価証券	0	0	0
事業未収金	66,153,782	70,686,124	△ 4,532,342
未収金	0	0	0
未収補助金	0	1,510,000	△ 1,510,000
貯蔵品	608,776	545,251	63,525
商品・製品	1,870,660	1,047,530	823,130
仕掛品	412,110	448,730	△ 36,620
原材料	1,057,102	1,079,956	△ 22,854
立替金	185,275	62,655	122,620
前払金	1,713,674	1,601,927	111,747
前払費用	0	0	0
一年以内回収予定長期貸付金	0	0	0
短期貸付金	0	0	0
仮払金	744,399	744,399	0
その他の流動資産	0	0	0
固定資産	443,569,884	453,813,480	△ 10,243,596
基本財産	391,104,464	398,895,851	△ 7,791,387
土地	247,875,100	247,875,100	0
建物	139,450,324	147,070,620	△ 7,620,296
構築物	3,779,040	3,950,131	△ 171,091
定期預金	0	0	0
投資有価証券	0	0	0
その他の固定資産	52,465,420	54,917,629	△ 2,452,209
土地	0	0	0
建物	13,710,323	12,232,507	1,477,816
構築物	108,975	108,975	0
車両運搬具	2,543,172	4,457,878	△ 1,914,706
器具及び備品	17,968,739	23,559,816	△ 5,591,077
建設仮勘定	5,562,000	0	5,562,000
権利	391,000	391,000	0
ソフトウェア	814,695	1,409,191	△ 594,496
投資有価証券	0	0	0
長期貸付金	0	0	0
退職給付引当資産	0	0	0
長期預り金積立資産	0	0	0
工賃平均積立預金	11,249,386	12,641,132	△ 1,391,746
備品購入積立預金	0	0	0
修繕積立預金	0	0	0
差入保証金	0	0	0
長期前払費用	58,150	58,150	0
その他の固定資産	58,980	58,980	0
資産の部合計	551,466,284	584,165,973	△ 32,699,689

負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動負債	32,571,827	36,393,374	△ 3,821,547
短期運営資金借入金	0	0	0
事業未払金	17,672,815	24,552,987	△ 6,880,172
その他の未払金	0	0	0
一年以内返済予定設備資金借入金	0	0	0
一年以内返済予定長期運営資金借入金	0	0	0
一年以内支払予定期長期間未払金	285,312	244,553	40,759
未払費用	0	0	0
預り金	1,097,240	0	1,097,240
職員預り金	11,678,357	11,559,022	119,335
前受金	0	0	0
前受収益	0	0	0
仮受金	1,838,103	36,812	1,801,291
賞与引当金	0	0	0
その他の流動負債	0	0	0
固定負債	747,194	1,043,937	△ 296,743
設備資金借入金	0	0	0
長期運営資金借入金	0	0	0
退職給付引当金	747,194	1,043,937	△ 296,743
長期預り金	0	0	0
その他の固定負債	0	0	0
負債の部合計	33,319,021	37,437,311	△ 4,118,290

## 資金収支計算書

第1号の1様式(単位:円)  
(自)2018年4月1日 (至)2019年3月31日

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
就労支援事業収入	64,304,000	64,923,302	△ 619,302
障害福祉サービス等事業収入	390,420,000	393,117,250	△ 2,697,250
自立支援給付費収入	359,612,000	360,803,002	△ 1,191,002
借入金利息補助金収入	0	0	0
経常経費寄附金収入	4,503,000	5,565,381	△ 1,062,381
受取利息配当金収入	10,000	394	9,606
私的契約利用料収入	200,000	196,765	3,235
その他の収入	1,863,000	1,792,209	70,791
事業活動収入計(1)	461,300,000	465,595,301	△ 4,295,301
人件費支出	327,493,000	329,693,286	△ 2,200,286
事業費支出	32,103,000	31,572,943	530,057
事務費支出	46,010,000	49,130,173	△ 3,120,173
就労支援事業支出	64,690,000	67,106,104	△ 2,416,104
支払利息支出	0	0	0
事業活動支出計(2)	470,296,000	477,502,506	△ 7,206,506
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 8,996,000	△ 11,907,205	2,911,205
PALWINDS	0	0	0
ハローワーク京都七条(京都障害者職業相談室)	0	0	0
ヒューマンプラス 佛教大学	0	0	0
ポップ ポラリス 山端自治会 ゆいまる	0	0	0
ゆりかもめ 養正学区社会福祉協議会	0	0	0
養正児童館 楽々堂 立命館大学 龍谷大学	0	0	0
ルシーナ・ハッタ 吉田歯科医院 わかば	0	0	0
修光学園後援会 修光学園家族会	0	0	0